

国際ロータリー第2640地区  
世界社会奉仕委員会 御中

藤井寺しゆら      ロータリークラブ

樫本雅宥

## 2006～2007年度 活動報告書 世界社会奉仕 (WCS)

みだしの件につき、当クラブで実施したWCS(世界社会奉仕)活動について、下記の通り報告致します。

### 1) 活動内容 (実施国・日時・場所・対象等について報告書があれば別紙と記載し添付して下さい)

《 井戸寄贈 1基 》

実施国: バングラデシュ

日時: 2006年9月完成

場所: バングラデシュ・ジャマルプール地区・バンチチョラ郡 ボイタマリ・ウッタール・パラ村

事業費: 150, 000円

井戸の形式: ポンプ式井戸(深さ 約49m)

《 ヒ素フィルター設置 2基 》

実施国: バングラデシュ

日時: 2006年12月

場所: バングラデシュ・ノアクハリ地方

事業期間: 1年間

事業費: 40, 000円 × 2基

事業費用途: ヒ素フィルター購入および設置工事費

### 2) 活動結果 (反省や今後の目標などもあれば記載して下さい。)

当クラブは、これまでバングラデシュに対して井戸を寄贈してきました。

また、これからもクラブとして継続して井戸の寄贈をさせていただく方針を立てておりました。

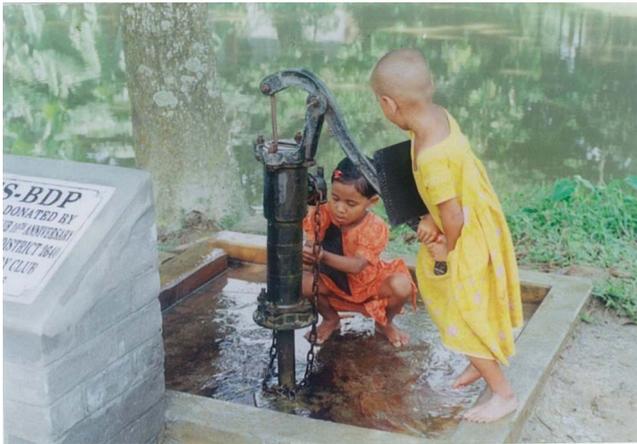
ところが、NHKのテレビでバングラデシュの井戸からヒ素が出ているようなことを言っていたが、我々が寄贈している井戸は大丈夫か」というご質問をいただきました。数日後、東京からビデオを取り寄せ、8月31日(木)の例会で50分のビデオを見ました。その後、井戸の寄贈のお手伝いをさせていただいてますアジア協会 アジア友の会の副事務局長 田中壽美子様と、バングラデシュダッカ工科大学助教授のムンスール・ラーマン氏に、9月7日(木)の例会にお越しいたき、事前にNHKのビデオを見ていただいて、当地の現状と今後の展望をお話しいたき、またフォーラムも開いて、会員と徹底的に討論を致しました。

当クラブは、再度フォーラムを開き、その結果、アジア協会 アジア友の会の副事務局長 田中壽美子様より、今までは井戸の完成時にヒ素をはじめ水質検査を日本のボランティア団体に依頼し、安全を確認した上で使用を始めていること、また当クラブの要望である毎年ヒ素濃度の検査報告を責任をもってしていただけるということを踏まえて、今後継続を含めて検討していくつもりです。

さらには、フィルターの有効性を考えて、こちらにも目を向けながらトータルで考えていこうということになりました。

以上

実施したWCS(世界社会奉仕)活動が終了すれば、必ず地区へ活動報告書の提出をお願い致します。  
また、写真や資料がある場合、出来るだけ添付して下さい。



井戸の水をくむ村の子ども達



井戸の受益を受けた小学校の子ども達



完成した井戸と学校の子も達



水で体を洗っている村の男性



水くみをする村の女性